

# 赤星

月刊

10月2003年 (通巻371号) No.29

本号300円 (毎月1日発行)  
年間購読料 1部3000円 (送料別)  
(送料) 密封1000円 開封800円

THE SEKISEI (RED STAR/ROTE STERN)

編集 共産主義者同盟 (DER BUND DER KOMMUNISTEN)

発行所 蜂起社 東京都江東区大島3-9-25/TEL 03-5626-8262  
(関西支社)大阪市北区菅栄町10-10 岸本ビル/TEL 06-6357-6975  
発行人 南 安明 (振替) 00120-2-1512 蜂起社・南安明

紙面案内

- ① 国境を越えた連帯行動を!
- ② パレスチナに連帯を (IV) 新しい左翼の思想と実践
- ③ 「持たざる者」の国際連帯行動
- ④ 反戦運動/反弾圧/サパティスタ

お知らせ 次号は11月15日発行です。

## パレスチナ・韓国—全世界の民衆の国境を越えた連帯行動を!



▲10.11「持たざる者」の国際連帯行動 (報告記事は3面に)  
▶9・27ロンドンでイラク占領に反対しパレスチナに連帯してデモ行進する人々 (ロイター)

## 帝国主義のグローバリズムと戦争に反対するインターナショナルな行動へ!

**自衛隊のイラク派兵阻止!  
米英軍は占領を止め  
直ちに撤退せよ!**

世界を揺るがすイラクとパレスチナ—中東情勢

イラクとパレスチナを巡る中東情勢が世界を揺るがしている。イラクでは、フセイン政権が崩壊し、米軍主導による占領政策が始まった。占領政策が開始されてから半年がたつが、占領軍に対する抵抗がますます激しくなっている。米英軍は、イラクの戦死者も後を絶たない。想定を上回る兵力と資金の負担は、超大国の米国にとっても財政悪化をより一層深刻なものにする重荷になっている。イラク戦争を正当化する名分であった「大量破壊兵器の保有による脅威」も、明らかになったのは「大量破壊兵器」ではなく、米フセイン政権の両政権による戦争にかり立てるためのまっかた嘘(デマゴギー)であったことだ。

イラク占領政策が揺るぐ中、米フセイン政権の誤算と中東政策そのものの綻びは隠しきれず、米軍の負担を減らすと、フセインは国連に新たな決議を要求して加盟国に多国軍艦として派遣し、米軍の占領資金負担を求め、焦りを深めている。フセインの来日が急遽決定したのもこの事情による。

フセイン政権の中枢を占めるネオコンが唱えていた「バグダッドを通じて、道はエルサレムへ続く」という中東戦略自体にも「黄信号」がもっている。泥沼の様相を呈しているイラク情勢は、フセインがイラク戦争の余勢をかって半ば強引にパレスチナに押し付けてきた新和平案(ロードマップ)も袋小路に入り込んで脱出困難な暗礁に完全に乗り上げてしまった形だ。

イラクの占領政策とパレスチナの新和平案(ロードマップ)の失敗と誤算が明らかになり、中東情勢に暗雲が垂れこめつつある。フセインの来年の大統領再選戦路にもかかわらず見え始めてきた。イラク開戦直後には70%を超えていた支持率もその後は下がるばかりで就任以来最低の50%になり、イラク戦争に際しても「戦争の意味がなかった」との回答が53%に上り(CBSテレビとニューヨーク・タイムズ紙の共同調査)、「米国は帝国主義国家になった」と感じている人が59%にも達していることが米世論調査機関の発表で明らかになった。フセイン政権に対する不信感が広がっていることを反映した結果といえる。

**戦争と占領に反対する国際行動**

パレスチナの第2次インティファダ(民衆蜂起)3周年に合わせて、帝国主義の戦争と占領に反対する

国際統一行動として、米(国際ANSWER)と英国(戦争阻止連合)の反戦団体が中心になって、9月27日、米国、欧州、アジアの各都市でイラク占領に反対する集会や抗議デモなどが繰り広げられた。

約2万人が参加した英のロンドンでは、首相ブレアのつづり「Blair」をもじって「Blair」(嘘つきブレア)というプラカードや「戦争も嘘じゃない」などと書かれた横断幕を掲げたり、「パレスチナに自由を!」と訴えるプラカードを手に大規模なデモが展開された。ソウルでは、韓国軍のイラク派兵に反対する大規模な抗議行動があった。我々は、午前中、イスラエルとアメリカの両大使館前での抗議行動を反戦闘争実行委とともに取り組み、午後はワールド・ピース・パレードに参加。夜は「パレスチナ連帯デー」映画と講演の集い(主催:JAPAC)が200名を超える参加者によって開催された。

今こそ、闘う労働者・人民は、帝国主義のグローバリズムと戦争に反対し、パレスチナ・韓国—全世界の民衆のラディカルなインターナショナルな国境を越えた連帯行動に、持たざる者、排除された人々とともに立ち上がろう!

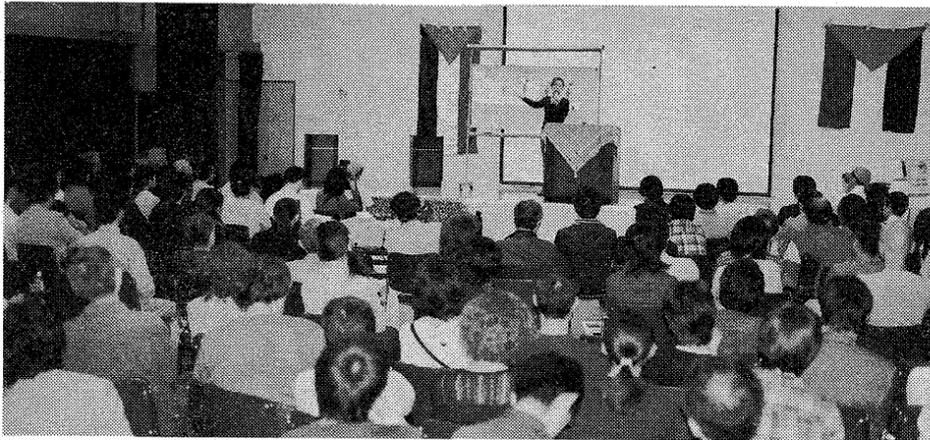
(2面へ続く)

# 国際主義の砦 パレスチナに連帯を!

## ロードマップは占領を永続化するバンツスタン化への道

### < IV >

### 楨 渡



200名を超える参加者で開催された9.27パレスチナ集会

国際法のジュネーブ条約に違反する占領地の拡大政策を続けていることは明らかで、パレスチナ独立国家の創設をうたった新和平案(ロードマップ)の建前に相反する破壊と分断の占領政策を推進してきたネオコンである。実際、イスラエルの軍事産業と結びつきアメリカの軍事産業とのパイプ役になっているネオコンのリーダー・パール前国防政策委員は、96年から99年の間、イスラエルの元首相ネタニヤフに対して「オスロ合意」を放棄するよう再三促していたのである。

米国は、国連安保理でイスラエルに対する非難決議案が出るたびに「イスラエルは1968年以降、32の国連安保理決議に違反し続けている」と拒否権を行使してきた。先の国連安保理でも、イスラエルのシャロン政権が9月11日の治安閣議でアラファト自治政府議長を「追放」を決定し、副首相オメルムルトに至っては「殺害の選択肢」にも言及したことに對して、追放案要求決議案が提出されたにもかかわらず、米国は「でも拒否権を行使してシャロン政権を喜ばせたい」というパレスチナの人々の切実な訴えを、世界はもう知らぬ振りして避けて通れないのである。

分離壁の建設に対しても、ブッシュはシャロンとの首脳会談でストップをかけたはずなのに、来年の大統領選挙のために親イスラエルのユダヤ系票を得るための思惑があるからだ。エジプトのアムハラム紙(8月1日付)は「米国がこの人種差別的な壁の建設を止めさせない限り、いっくら発言しても無意味」と批判している。このように米・イスラエル政権の「テロとの戦い」に乗じてイスラエルのシャロン政権は、シリア領内を空襲するなどさらなる軍事力による占領政策に踏み込んでいく。だが、パレスチナ民衆の抵抗を、たとえ力で抑え込むことができたとしても、それは一時的なものにすぎない。力による弾圧は必ず怒りを呼び起す。それをまた力で抑え込もうとすればするほどかえって怒りは倍加される。この3年にわたるインテリファダがこのことを証明している。「悪循環を断つ」にはイスラエルによる占領と迫害を終わらせることだ。

この現実に見て見ぬふりをし、いつ殺されるかわからないという迫害にさらされながら、拒否権を行使しながら生かされるパレスチナの人々の窮状を理解しない、占領が怒りを招き悲慘な自爆攻撃という手段以外に抵抗する術が残されていないと若者たちを思い詰めてきている状況を確認できないのだ。

イスラエル軍に中けらるよう命を奪われて、いつか平和と公正というものをどこに求めればいいのか、というパレスチナの人々の切実な訴えを、世界はもう知らぬ振りして避けて通れないのである。

国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)によると、第2次インテリファダが始まって以降の3年間で、イスラエル軍による破壊によって家を失ったパレスチナ人は約1万3千人に及ぶ。またパレスチナ経済は完全に疲弊し、3年前までは自治区からイスラエルに毎日12万8千人が働きに出ているが、イスラエル軍の封鎖によって収入源を失ったパレスチナ人が失業にあえいでいる。世界銀行によると1日2ドル以下で生活する人の比率は3年前の21%から60%に上昇し生活苦は深刻化している。

「米国の対外援助予算の10%近くをイスラエルは受領している。2003年だけでもイスラエルは、イラク戦争に備えるための軍事予算として10億ドルを受け取った。国防総省がイスラエルから購入したミサイルがイラクやアフガニスタンで使用されたのは、公然の秘密となっている。イスラエルが開発したハブエ・ナフ・ミサイルは、……通称「バンカー・バスター」である。米国のイスラエルへの経済援助は、世界第3位の輸出を誇り、年間35億ドルの利益を上げるイスラエルの軍事産業を育てることに貢献している。米国のイスラエルへの軍事援助のうち5億ドルは、イスラエルの兵器産業の育成に役立てられている。イスラエルは、米国の軍事援助によって新しい兵器を開発し、米国の他の諸国に輸出していることになっている。」

(宮田律・岩波ブックレット「中東情勢のいまを讀む」)

インテリファダ 3周年を迎えた抵抗

イスラエルの占領に対するパレスチナ民衆の抵抗運動として始まった第2次インテリファダ(民衆蜂起)は、9月28日、3周年を迎えた。この3年間でイスラエルによる占領と迫害でパレスチナ人の犠牲者は約2500人以上とされている。投獄や家屋破壊、そしてヨルダン川西岸自治区に大きく食い込む形でパレスチナ人の土地を接収(強奪)して「アパルトヘイト」あるグリーン・ラインを大きく越えて建設している分離壁(イスラエルは「安全保障・テロ防止のためのフェンス」と呼ぶ)を建設するなど、国連人権委員会への報告書でも国連憲章や国際法のジュネーブ条約に違反する占領地の拡大政策を続けていることは明らかで、パレスチナ独立国家の創設をうたった新和平案(ロードマップ)の建前に相反する破壊と分断の占領政策を推進してきたネオコンである。実際、イスラエルの軍事産業と結びつきアメリカの軍事産業とのパイプ役になっているネオコンのリーダー・パール前国防政策委員は、96年から99年の間、イスラエルの元首相ネタニヤフに対して「オスロ合意」を放棄するよう再三促していたのである。

米国は、国連安保理でイスラエルに対する非難決議案が出るたびに「イスラエルは1968年以降、32の国連安保理決議に違反し続けている」と拒否権を行使してきた。先の国連安保理でも、イスラエルのシャロン政権が9月11日の治安閣議でアラファト自治政府議長を「追放」を決定し、副首相オメルムルトに至っては「殺害の選択肢」にも言及したことに對して、追放案要求決議案が提出されたにもかかわらず、米国は「でも拒否権を行使してシャロン政権を喜ばせたい」というパレスチナの人々の切実な訴えを、世界はもう知らぬ振りして避けて通れないのである。

分離壁の建設に対しても、ブッシュはシャロンとの首脳会談でストップをかけたはずなのに、来年の大統領選挙のために親イスラエルのユダヤ系票を得るための思惑があるからだ。エジプトのアムハラム紙(8月1日付)は「米国がこの人種差別的な壁の建設を止めさせない限り、いっくら発言しても無意味」と批判している。このように米・イスラエル政権の「テロとの戦い」に乗じてイスラエルのシャロン政権は、シリア領内を空襲するなどさらなる軍事力による占領政策に踏み込んでいく。だが、パレスチナ民衆の抵抗を、たとえ力で抑え込むことができたとしても、それは一時的なものにすぎない。力による弾圧は必ず怒りを呼び起す。それをまた力で抑え込もうとすればするほどかえって怒りは倍加される。この3年にわたるインテリファダがこのことを証明している。「悪循環を断つ」にはイスラエルによる占領と迫害を終わらせることだ。

この現実に見て見ぬふりをし、いつ殺されるかわからないという迫害にさらされながら、拒否権を行使しながら生かされるパレスチナの人々の窮状を理解しない、占領が怒りを招き悲慘な自爆攻撃という手段以外に抵抗する術が残されていないと若者たちを思い詰めてきている状況を確認できないのだ。

イスラエル軍に中けらるよう命を奪われて、いつか平和と公正というものをどこに求めればいいのか、というパレスチナの人々の切実な訴えを、世界はもう知らぬ振りして避けて通れないのである。

国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)によると、第2次インテリファダが始まって以降の3年間で、イスラエル軍による破壊によって家を失ったパレスチナ人は約1万3千人に及ぶ。またパレスチナ経済は完全に疲弊し、3年前までは自治区からイスラエルに毎日12万8千人が働きに出ているが、イスラエル軍の封鎖によって収入源を失ったパレスチナ人が失業にあえいでいる。世界銀行によると1日2ドル以下で生活する人の比率は3年前の21%から60%に上昇し生活苦は深刻化している。

「米国の対外援助予算の10%近くをイスラエルは受領している。2003年だけでもイスラエルは、イラク戦争に備えるための軍事予算として10億ドルを受け取った。国防総省がイスラエルから購入したミサイルがイラクやアフガニスタンで使用されたのは、公然の秘密となっている。イスラエルが開発したハブエ・ナフ・ミサイルは、……通称「バンカー・バスター」である。米国のイスラエルへの経済援助は、世界第3位の輸出を誇り、年間35億ドルの利益を上げるイスラエルの軍事産業を育てることに貢献している。米国のイスラエルへの軍事援助のうち5億ドルは、イスラエルの兵器産業の育成に役立てられている。イスラエルは、米国の軍事援助によって新しい兵器を開発し、米国の他の諸国に輸出していることになっている。」

(宮田律・岩波ブックレット「中東情勢のいまを讀む」)

人々は約1万3千人に及ぶ。またパレスチナ経済は完全に疲弊し、3年前までは自治区からイスラエルに毎日12万8千人が働きに出ているが、イスラエル軍の封鎖によって収入源を失ったパレスチナ人が失業にあえいでいる。世界銀行によると1日2ドル以下で生活する人の比率は3年前の21%から60%に上昇し生活苦は深刻化している。

「米国の対外援助予算の10%近くをイスラエルは受領している。2003年だけでもイスラエルは、イラク戦争に備えるための軍事予算として10億ドルを受け取った。国防総省がイスラエルから購入したミサイルがイラクやアフガニスタンで使用されたのは、公然の秘密となっている。イスラエルが開発したハブエ・ナフ・ミサイルは、……通称「バンカー・バスター」である。米国のイスラエルへの経済援助は、世界第3位の輸出を誇り、年間35億ドルの利益を上げるイスラエルの軍事産業を育てることに貢献している。米国のイスラエルへの軍事援助のうち5億ドルは、イスラエルの兵器産業の育成に役立てられている。イスラエルは、米国の軍事援助によって新しい兵器を開発し、米国の他の諸国に輸出していることになっている。」

(宮田律・岩波ブックレット「中東情勢のいまを讀む」)

# パレスチナ・韓国ー全世界の民衆の国際連帯で反グローバリズム運動を!

## 新しい左翼の思想と実践

今日、資本主義は世界中のあらゆる地域に押し入り、貧困と失業、不平等を拡大させながら人々を搾取し抑圧し虐げている。

巨大化・多国籍化した独占資本によるこの世界支配(グローバルゼーション)に對して、最も犠牲を被ってきた虐げられし者たち・プロレタリアートは、いまや全世界で怒りをたぎらせ反抗の火の手を燃え上がらせている。G8サミットやWTOなど暴力をむさぼる帝国主義の集まりに對する反グローバルゼーションの闘い、そして、この間のイラク反戦運動の世界的規模での国際連帯行動としての拡がり、はつきりと証明しているように、帝国主義のグローバルリズムと戦争に對する民衆のカウンター・パワ―は確実に成長しているのである。

こうした時代状況に對して、共産主義者が本当に労働者・人民から頼りにされ希望を託される存在―すなわち革命の前衛―たりえるには、何よりも社会の底辺部に虐げられている民衆の最深部の怒り・苦しみと血と肉(エネルギー)に對して、革命への情熱と希望を燃やしていくことであり、そこから帝国主義のグローバルリズムと戦争に對する民衆のカウンター・パワ―を燃やしていくことである。

今日、資本主義は世界中のあらゆる地域に押し入り、貧困と失業、不平等を拡大させながら人々を搾取し抑圧し虐げている。

巨大化・多国籍化した独占資本によるこの世界支配(グローバルゼーション)に對して、最も犠牲を被ってきた虐げられし者たち・プロレタリアートは、いまや全世界で怒りをたぎらせ反抗の火の手を燃え上がらせている。G8サミットやWTOなど暴力をむさぼる帝国主義の集まりに對する反グローバルゼーションの闘い、そして、この間のイラク反戦運動の世界的規模での国際連帯行動としての拡がり、はつきりと証明しているように、帝国主義のグローバルリズムと戦争に對する民衆のカウンター・パワ―は確実に成長しているのである。

こうした時代状況に對して、共産主義者が本当に労働者・人民から頼りにされ希望を託される存在―すなわち革命の前衛―たりえるには、何よりも社会の底辺部に虐げられている民衆の最深部の怒り・苦しみと血と肉(エネルギー)に對して、革命への情熱と希望を燃やしていくことであり、そこから帝国主義のグローバルリズムと戦争に對する民衆のカウンター・パワ―を燃やしていくことである。

今日、資本主義は世界中のあらゆる地域に押し入り、貧困と失業、不平等を拡大させながら人々を搾取し抑圧し虐げている。

巨大化・多国籍化した独占資本によるこの世界支配(グローバルゼーション)に對して、最も犠牲を被ってきた虐げられし者たち・プロレタリアートは、いまや全世界で怒りをたぎらせ反抗の火の手を燃え上がらせている。G8サミットやWTOなど暴力をむさぼる帝国主義の集まりに對する反グローバルゼーションの闘い、そして、この間のイラク反戦運動の世界的規模での国際連帯行動としての拡がり、はつきりと証明しているように、帝国主義のグローバルリズムと戦争に對する民衆のカウンター・パワ―は確実に成長しているのである。

こうした時代状況に對して、共産主義者が本当に労働者・人民から頼りにされ希望を託される存在―すなわち革命の前衛―たりえるには、何よりも社会の底辺部に虐げられている民衆の最深部の怒り・苦しみと血と肉(エネルギー)に對して、革命への情熱と希望を燃やしていくことであり、そこから帝国主義のグローバルリズムと戦争に對する民衆のカウンター・パワ―を燃やしていくことである。

(楨渡)

# グローバル化の暴力にNO!

# 「持たざる者」の国際連帯行動



▲クリストフ・アギトンさんの連帯アピール(10月11日)  
▼MST活動家シロ・コリアさんの講演(10月6日)



「持たざる者」は、搾取され、差別され、分断され、排斥され、治安維持の対象にまでされる。それは「社会的排除」というやつなのだ。

この現実は何なんだ、ヤツらに奉仕するのはもう沢山だ！  
「持たざる者」は、不安定で苛酷な労働を強いられ、モノのように使い棄てられ、失業を余儀なくされ、路上に放り出される。

年間3万人を超える自殺者を出し、400万人が失業状態に置かれ、フリーターと呼ばれる多くの若者が不安定低賃金労働を強いられ、労働運動の多くが低迷、後退し、人々のつながりが寸断させられている日本の現実の中から野宿労働者、失業者、移住労働者、フリーター、そして多くの不安定就労下に置かれる底辺・下層の労働者など、「持たざる者」が手を結び、社会的排除に抗して声をあげる時が来た。

宮下公園で集会・渋谷デモ  
クリストフ・アギトン氏も参加  
10月11日、東京・渋谷の繁華街に「持たざる者」の声を届けるべく、約100人の野宿労働者、失業者、移住労働者、フリーター、そして多くの不安定就労下に置かれる底辺・下層の労働者など、「持たざる者」が手を結び、社会的排除に抗して声をあげる時が来た。

「持たざる者」は、搾取され、差別され、分断され、排斥され、治安維持の対象にまでされる。それは「社会的排除」というやつなのだ。

「持たざる者」は、搾取され、差別され、分断され、排斥され、治安維持の対象にまでされる。それは「社会的排除」というやつなのだ。

「持たざる者」は、搾取され、差別され、分断され、排斥され、治安維持の対象にまでされる。それは「社会的排除」というやつなのだ。

「持たざる者」は、搾取され、差別され、分断され、排斥され、治安維持の対象にまでされる。それは「社会的排除」というやつなのだ。

「持たざる者」は、搾取され、差別され、分断され、排斥され、治安維持の対象にまでされる。それは「社会的排除」というやつなのだ。

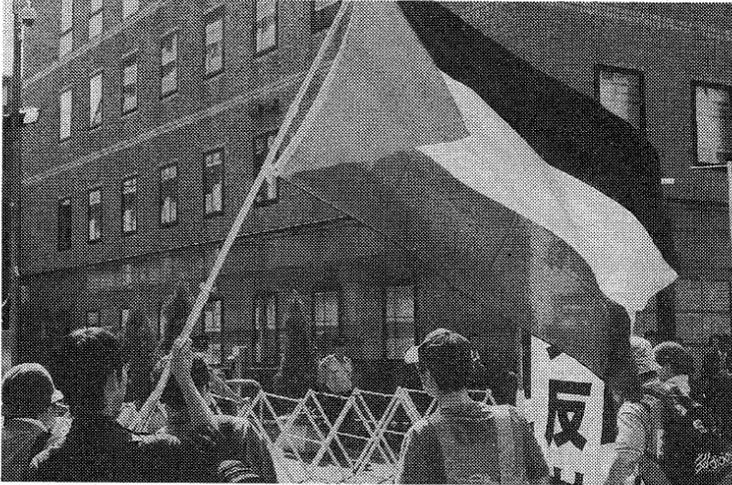
# ブッシュ来日弾劾・自衛隊出兵阻止!

## インテイクアード3カ年 イスラエル大使館へ抗議

9月27日、パレスチナ民衆の第2次インテイクアード3カ年にあたるこの日、「米英のイラク占領反対」「パレスチナに自由を」「追放」決定を撤回せよを要求する申し入れ文を掲げた国際反戦同時行動が呼びかけられた。反戦闘争は、この呼びかけに連帯しイスラエル大使館とアメリカ大使館への抗議・申し入れ行動を取り組んだ。

イスラエル大使館前に結集した反戦闘争者は、抗議文を受け取るよう要求したが、警備の警官は何と「大使館は留守だ」と突っぱねた。他の大使館では考えられない不誠実な対応に抗議し、規制をほねのけ門前で弾劾のシュプレヒコールを叩きつける。続いて、「イスラエル軍はパレスチナ民衆の殺りくど住居の破壊を止めよ」「占領地から即時全面撤退せよ」「分断壁」の建設を即時中止・撤去せよ」「アラファト議長への『追放』決定を撤回せよ」を要求する申し入れ文を読み上げ、現場における抗議集会を貫徹した。

その後、アメリカ前駐米大使館前には「ブッシュはアジア歴訪を中止せよ」「米軍はイラクから撤退せよ」などを掲げた抗議文を渡し、門前で抗議集会、怒りのシュプレヒコールを叩きつけた。午後は、芝公園で行われた9・27ワールド・ピースパレードに合流して、真我々はパレスチナの旗を掲げてパレードに参加した。夕方からは、日本パレスチナプロジェクトセンター主催の「パレスチナ連



イスラエル大使館への抗議行動(9月27日)

帯デー・映画と講演の集い」に参加。200名を超える参加者で熱気あふれる中で『ジェンジン』、『カザ回廊』の2本のドキュメンタリーが上映され、「パレスチナ問題とロードマップ」と題して重信メイさんの講演が行われた。

翌28日には、反戦闘争主体の「有事と派兵を撃つ9・28講演集会」が、渋谷勤労福祉会館にて60名の結集、勝ち取られた。講演者は松尾高志さん(ジャーナリスト)は、有事法制の狙いと本質を、今日の米国の軍事戦略とのからみで提起された。質疑や意見、連帯を呼びかけた。自衛隊のイラク派兵・参戦を許さな

い今秋の反戦闘争に立ち上ることを確認した。小泉政権は10月15日、ブッシュ来日を目前にして当面15億ドルの「復興援助」

という名の米英占領軍への戦費拠出・自衛隊航空・陸上への年内からの段階的派兵を決定した。10・17ブッシュ来日反対闘争(午後6時

時半・恵比寿公園、主催・10・17実行委)から、10・26イラク派兵阻止・国際反戦行動へ(午後1時・恵比寿公園、主催・反戦闘争美

## 反弾圧闘争・共謀罪阻止 迷惑防止条例改悪弾劾

9月12日、第28回9・14反弾圧闘争が内幸町ホールにおいて180名の結集をもって勝ち取られた。全国から結集した闘争者団体の力強い挨拶をはじめ、反弾圧闘争の決意表明がなされた。新橋から霞ヶ関を経て山下幸夫弁護士。さらに10月5日には、共同行動と

共謀罪 止める戦争への道」と題した7月に続く第2弾の講演集会が70名の結集で行われた(講演は山田幸夫弁護士)。さらに10月5日には、共同行動と

共謀罪 止める戦争への道」と題した7月に続く第2弾の講演集会が70名の結集で行われた(講演は山田幸夫弁護士)。さらに10月5日には、共同行動と

共謀罪 止める戦争への道」と題した7月に続く第2弾の講演集会が70名の結集で行われた(講演は山田幸夫弁護士)。さらに10月5日には、共同行動と

## 暫定滑走路の延伸許すな! 10・12三里塚全国闘争決起

10・12三里塚全国総決起集会が東峰の反対同盟所有地で1200名の結集をもって勝ち取られた。基調報告では北原敏治氏が、38年間の地平を正義の闘いと振り返り、反対同盟は三里塚を反戦の地として未来のために闘い抜くと宣言を述べた。3月の全国集会に参加した米国「ANSWER」からは「三里塚農民の不屈の闘志と闘いを継続してきてた力は私たちが鼓舞・激励している。私たちは10月25日にワシントンで全国的な反戦行動を計画している。戦争動員に反対し国際連帯を勝ち取る。日本とアメリカの人民連帯万歳」との力強い連帯メッセージが寄せられた。

10・12三里塚全国総決起集会は、東峰神社裁判の報告と支援の訴えがなされ、暫定滑走路の延伸とジェットプラストの被害の中で闘い抜く市東孝雄さんからは「一時が万事、許さない」とばかりだが私は大地に腰を据えて、攻撃に立ち向かい、全国全世界の労働者と連帯して闘い抜く」と闘争あふれる決意表明がなされた。住民団体の表明では、労働者全国実行委を代表して山谷の同志から、10・11行動成功の報告と「朝日建設」弾劾の闘いを提起。共同団体表明では、蜂起派の同志は、インターナショナルな連帯行動を通して共産主義への希望を取り戻そうと提起した。集会後、山谷・金ヶ崎を先頭にした労働者全国実行委の隊列は、権力の規制を許さず元氣よく敷地内をデモ。暫定滑走路に怒りの声を叩きつけた。

敷地内で闘う秋原進さんからは、東峰神社裁判の報告と支援の訴えがなされ、暫定滑走路の延伸とジェットプラストの被害の中で闘い抜く市東孝雄さんからは「一時が万事、許さない」とばかりだが私は大地に腰を据えて、攻撃に立ち向かい、全国全世界の労働者と連帯して闘い抜く」と闘争あふれる決意表明がなされた。住民団体の表明では、労働者全国実行委を代表して山谷の同志から、10・11行動成功の報告と「朝日建設」弾劾の闘いを提起。共同団体表明では、蜂起派の同志は、インターナショナルな連帯行動を通して共産主義への希望を取り戻そうと提起した。集会後、山谷・金ヶ崎を先頭にした労働者全国実行委の隊列は、権力の規制を許さず元氣よく敷地内をデモ。暫定滑走路に怒りの声を叩きつけた。



三里塚全国集会(10月12日)

## 「私たちに希望がある」 サパティスタ・マルコス副司令官のメッセージ

9月13日、反WTOの闘いに向けてチアパスより全世界へ発信されたメッセージ

2003年9月13日、ネオリベリズムに反対するグローバル行動に参加しているメキシコそして世界中の兄弟姉妹たち。サパティスタ民族解放軍の男たち、女たち、子供たちと老人たちの心からの挨拶を送りましょう。死と破壊のグローバル化に抵抗する私たちのグローバルな行動は、今日カンクンにおいて素晴らしい動きを見せています。金の奴隷である一握りの輩たちが、甘い汁を吸うために犯罪的なグローバル化を進めるための話し合いをしています。彼らと私たちの違いは財布の中身ではない。もっとも彼らの財布には金がつまっています。私たちの財布は希望であふれている。そうです。違いは礼儀ではなく心です。私たちの心には明日を築くという思いがある。でも彼らには永遠に繰り返される過去があるだけだ。私たちに生命があるが、彼らには死があるだけだ。私たちは人類のために闘うが、彼らはネオリベリズムのために闘う。私たちは自由を望むが、彼らは私たちに奴隷にしようとする。我々が地球の持ち主と自負する連中が、自分の計画を実現するために高い壁に囲まれ、哀れな治安軍の後ろでこぞこぞするのは前にもあったことだ。世界を支配しようとする多国籍軍は(つまり支配とは破壊することだが)、自分たちの恐れと同じくらいいさかい安全保障のシステムのもとに群がっている。権力者たちが未来の戦争と覇権を企むことを、以前なら見えないうちでできたかも知れないが、今はカンクンに結ぶ

集まっている数万人をして世界中で結集している数百万人の前でしなねばならない。上からのグローバル化は血を流し、ドルを排せするシステムだ。死をドルに換算する複雑なバランスシートを見ると、グローバルな殺りくをきわめて安価に見積もる人間がいる。私たちは先住民、若者、女、子供、老人、ゲイ、レスビアン、移民者、他とは違いますが、つまり人類の大部分だ。権力者たちは地球を会員制の特別クラブにしようとしている。今彼らが集まっているテラックスな場所は連中が考えている地球の青写真を表している。軍隊と警察に守られた豪華なホテル、レストラン、娯楽場などで私たちがそこに入るとすれば給仕が清掃のため、それ以外は世界の外、生命の外に投げ出される。人間として尊厳と自由を生かされる新たな道を切り拓こう。このようなオルタナティブは可能であり必要だ。それらは大陸の隅々に至るまで人類の未来がこのオルタナティブにかかっているからだ。「自由」という言葉は主語が複数の動詞として活用されるのでなければ、冷笑をもって妨げられてしまふ。兄弟姉妹の皆さん、世界にはグローバル化の二つの計画があります。上からのグローバル化は、妥協、皮肉、愚かさ、戦争、破壊、死、忘却をグローバル化します。下からのグローバル化は、反抗、希望、創造性、知性、イマジネーション、生命、記憶、すべての人がそこに自分の場所を見いだす世界をもたらします。民主主義、自由、正義のある世界を、

関東大震災朝鮮人虐殺80周年 9・21-26集会を勝ち取る

関東大震災80周年・朝鮮雨にもかわからず、3地域人虐殺を忘れない! 吹き 内外から30名が集まった。荒れる民族差別・排外主義 公園には、震災の感銘と復讐の民族差別・排外主義 公園には、震災の感銘と復讐の民族差別・排外主義 公園には、震災の感銘と復讐の民族差別・排外主義

関東大震災80周年・朝鮮雨にもかわからず、3地域人虐殺を忘れない! 吹き 内外から30名が集まった。荒れる民族差別・排外主義 公園には、震災の感銘と復讐の民族差別・排外主義 公園には、震災の感銘と復讐の民族差別・排外主義

関東大震災80周年・朝鮮雨にもかわからず、3地域人虐殺を忘れない! 吹き 内外から30名が集まった。荒れる民族差別・排外主義 公園には、震災の感銘と復讐の民族差別・排外主義 公園には、震災の感銘と復讐の民族差別・排外主義

関東大震災80周年・朝鮮雨にもかわからず、3地域人虐殺を忘れない! 吹き 内外から30名が集まった。荒れる民族差別・排外主義 公園には、震災の感銘と復讐の民族差別・排外主義 公園には、震災の感銘と復讐の民族差別・排外主義